

146 回

稲門フィラテリー切手教室

レジュメ

2018 年 10 月 6 日

昭和切手 (新昭和切手)

宮鍋 益治

◎ 郵趣年表 (昭和切手時期)

1 昭和切手各シリーズの特徴・新昭和各シリーズの特徴

2 昭和切手の印刷方式 昭和切手の目打

3 第一次昭和切手分類表



4 第二次昭和切手分類表



5 日本切手の透かし 日本切手の銘版

6 第三次昭和切手分類表



7 第一次新昭和切手分類表

8 第二次新昭和切手分類表

◎ 郵便料金の変遷と新料金適応切手の発行

参考資料

切手図案募集

追放切手等

郵 趣 年 表

(昭和切手の時期)

年 月 日	日本・世界の動き	月 日	郵趣の動き
昭和 12年 1937	7月 7日 盧溝橋事件、日中戦争 11月 6日 日独伊防共協定調印	3月11日 郵便切手図案審査会設置 4月1日 郵便料金改正、書状4銭、はがき2銭 5月10日 第1次昭和切手2銭発行	
13年 1938	4月 1日 国家総動員法公布	12月15日 日光国立公園切手発行	
14年 1939	5月11日 ノモンハン事件 9月 1日 ドイツ軍ポーランド侵入 9月 3日 第2次世界大戦、 英仏ドイツに宣戦布告	1月23日 日本郵便切手会発足 3月1日 傷病軍人用はがき発行 4月1日 内地南洋間航空郵便開始	
15年 1940		2月21日 第1次昭和最後の20銭切手発行 (切手19種ハガキ5種完了) 11月 年賀郵便特別取扱い当分停止	
16年 1941	10月18日 東条内閣成立 12月 8日 真珠湾攻撃	7月1日 郵便切手預金の復活にともない 貯金台紙10銭切手発行 10月4日 臨時郵便取締令施行、検閲始まる 12月1日 時局郵便切手図案懸賞募集	
17年 1942	4月18日 米機による本土初空襲 8月 7日 第1次ソロモン海戦、 米軍の反撃始まる	1月15日 軍事郵便取扱開始 2月16日 シンガポール陥落記念切手発行 2月23日 時局図案入選作9点発表 3月25日 南方占領地との郵便取扱開始 4月1日 郵便料金改正、書状5銭ほか値上げ 10月1日 時局図案4銭、15銭、40銭切手発行	
18年 1943	2月 9日 ガダルカナル島日本軍撤退 9月23日 学生徴兵始まる 10月21日 学徒出陣 12月 3日 テヘラン宣言	2月11日 通信日付印改正時刻活字の使用廃止 11月1日 通信省廃止、通信院設置(運輸通信省の外) 12月8日 大東亜戦争2周年国防献金付葉書発行	
19年 1944	2月 京浜地区の人口疎開始まる 3月 6日 新聞夕刊廃止 11月24日 東京大空襲(B29約80機)	1月8日 20銭、30銭、40銭切手版式を凸版化 4月1日 郵便料金改正、書状7銭、葉書3銭	
20年 1945	2月11日 ヤルタ会談始まる 3月10日 東京大空襲、死者10万人 3月30日 米軍沖縄本島へ上陸 4月28日 ムツソリーニ射殺さる 4月30日 ヒトラー総統自殺 6月21日 沖縄部隊全滅 6月26日 国際連合成立 7月26日 ポツダム宣言発表 8月 6日 広島、9日長崎に原子爆弾投下 8月 8日 ソ連、対日宣戦布告 8月15日 日本ポツダム宣言受諾 9月 2日 降伏文書調印	2月1日 書留・価格表記郵便は「料金収納印」押 3月9日 通信院大手町倉庫全焼 4月1日 郵便料金改正、書状10銭、葉書5銭 4月13日 印刷局滝野川工場罹災、切手製造全滅 5月19日 通信院を逓信院に改称 8月26日 勅額切手の売り捌き停止 10月21日 台北局で台湾数字切手発売 10月31日 平和図案懸賞募集官報広告 10月31日 新図案10銭切手(富士山と桜)発行 12月15日 新小型葉書5銭(楠公)発行	

年	月	日	日本・世界の動き	月	日	郵趣の動き
昭和 21年						
1946	1月	1日	天皇人間宣言	1月	10日	新切手図案懸賞入選作品発表
	3月	3日	新円切換、預金封鎖 物価統制令施行	5月	13日	GHQ郵便切手図案に関する禁止事項指令 切手図案の事前検閲開始まる
				5月	17日	靖国1円切手売り捌き停止
				7月	1日	逓信省再発足
	11月	3日	日本国憲法公布	7月	20日	新図案 5銭桜葉書発行
	11月	15日	当用漢字1850字制定 新かなづかい決定	7月	25日	郵便料金改正、書状30銭、葉書15銭
	12月	30日	6・3・3・4制教育体制決定	8月	1日	「日本郵便」北斎1円切手発行
				8月	25日	桜15銭はがき発行
				9月	10日	外国郵便業務制限付き再開
				9月	26日	平山秀山堂謹製銘シート30銭切手
				10月		印刷局に今後発行は国名左書き
22年						
1947	1月	31日	官公庁2.1スト。マ元帥中止命令	1月	15日	UPU30銭往復はがき発行
				2月	11日	小型記念スタンプ使用復活
				2月	15日	30銭切手付封筒発行(売価40銭)
	5月	3日	新憲法施行 地方自治法施行	4月	1日	郵便料金改正、書状1円20銭葉書50銭
	8月		インド連邦、パキスタン独立	8月	15日	菊花紋章廃止1番切手「民間貿易」
				8月	31日	切手29種葉書3種使用禁止追放さ
				9月	1日	外国航空郵便再開
	12月		児童福祉法公布	11月	1日	逓信博物館再開。切手趣味週間
23年						
1948	2月	15日	司法省廃止、法務庁設置	1月		風景入り日付印使用復活
	4月	1日	新制高校発足	5月	1日	便箋兼用切手付封筒2種発売
	7月	20日	国民祝日決定	7月	10日	郵便料金改正、書状5円、葉書2円
	8月	15日	大韓民国樹立宣言	12月	1日	郵便はがき75周年記念葉書発行
	10月	1日	第1回新聞週間	12月	3日	選挙事務証紙発行
	12月	10日	国連「人権宣言」を採択	12月	15日	年賀郵便特別取扱い再開
24年						
1949				2月	15日	郵便切手蝶発行再開(採炭夫5円)
	10月		中華人民共和国成立	3月	1日	航空書簡(エログラム)発行
	11月		湯川秀樹ノーベル賞	4月	10日	国立公園切手復活(吉野熊野)
				5月	1日	郵便料金改正、書状8円、葉書据置2F
				6月	1日	逓信省を廃止、郵政省・電気通信省設
25年						
1950	6月	25日	朝鮮戦争起こる	2月	1日	お年玉葉書6等賞品2円虎切手シ
	8月	10日	警察予備隊設置	4月	15日	全日本切手展開催
26年						
1951	9月	9日	サンフランシスコ講和会議 平和条約調印、日米安全保障条約	11月	1日	郵便料金改正、書状10円、葉書5F

昭和切手各シリーズの特徴

シリーズ名	印刷方式	目打	紙質	糊	適応郵便料金体系
第一次 昭和切手 19種	凸版印刷(10種) (平台、ゲーベル) 凹版印刷(9種)	櫛型目打13×13 ¹ / ₂ 全型 13×13 ¹ / ₂	白紙	有り	昭和12年4月1日 改正料金 (書状4銭)
第二次 昭和切手 17種	凸版印刷(15種) (平台、ゲーベル) 凹版印刷(2種)	櫛型目打13×13 ¹ / ₂ 全型 13×13 ¹ / ₂ 単線目打12 目打無し(2種に出現)		有り (A-C) 無し (6種に出現)	昭和17年4月1日改正 (書状5銭) 昭和19年4月1日改正 (書状7銭)
第三次 昭和切手 10種	平版印刷	目打無し	白紙 灰白紙 粗紙	無し	昭和20年4月1日改正 (書状10銭)

新昭和切手各シリーズの特徴

シリーズ名	印刷方式	目打	糊	特徴	適応郵便料金体系
第一次 新昭和切手 10種	平版印刷 凹版印刷(2種)	目打 無し	無し	国名表示 「日本郵便」 菊の紋章 有	昭和21年7月25日改正 (書状30銭)
第二次 新昭和切手 12種	凸版印刷 平版印刷 凹版印刷	全型目打13×13 ¹ / ₂ 櫛型目打 横抜櫛型。下抜櫛型	有り	左書 菊の紋章 有	昭和22年4月1日改正 (書状1円20銭)
第三次 新昭和切手 4種	平版印刷 凸版印刷 (平台、ゲーベル)	全型目打13×13 ¹ / ₂ 櫛型目打 横抜櫛型目打	有り	菊の紋章 無	昭和23年7月10日改正 (書状 5円)

昭和切手の印刷方式

シートの主なる特徴

- | | |
|-----------------------|--|
| (1) 凹版印刷 | 白耳(枠線無し) 左右中央に目打用トンボ有り
櫛型目打 |
| (2) 凸版印刷
輪転版(ゲーベル) | 耳紙にかすみ罫枠線 新昭和切手では白耳あり
横の枠線切手2枚毎に断続 ゲーベル番号有り
全型目打 |
| 平面版(平台) | 連続枠線(断続なし) 目打用トンボ有り
櫛型目打、単線目打 |
| (3) 平版印刷(オフセット) | 白耳 目打有りシートにはトンボ有り |

昭和切手の目打(Perforation)

(1) 櫛型目打

櫛型目打 $13 \times 13\frac{1}{2}$	印刷局
横抜櫛型目打 $13 \times 13\frac{1}{2}$	豊国印刷 (35銭型)
横抜櫛型目打 $11 \times 13\frac{1}{2}$	
下抜櫛型目打 $13 \times 13\frac{1}{2}$	共同印刷 (45銭型)

(2) 全型目打

全型目打 $13 \times 13\frac{1}{2}$	印刷局
全型目打 $12 \times 12\frac{1}{2}$	凸版印刷
分割目打 $12 \times 12\frac{1}{2}$	凸版印刷

(3) 単線目打

単線目打 12	印刷局
---------	-----

(4) ルーレット目打

平山秀山堂

第一次昭和切手分類表

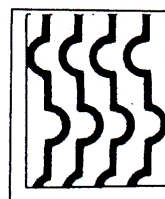
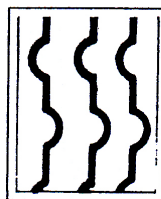
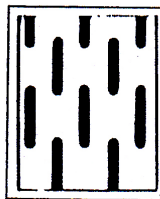
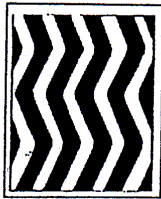
額面金額	印刷方法	目打 13x13 ¹ / ₂	銘版					主なるバラエティー
			内閣 印刷局	大日本帝国印刷局		印刷局		
				24ミリ	29ミリ	削り	中央	
5厘	凸版平台	櫛型	0					「壹」の一部字欠け 朱色 朱色 [2]の字形状異常 <

第二次昭和切手分類表

額面金額	印刷方法	目打 13×13 ¹ / ₂	銘版					主なるバラエティー
			内閣 印刷局	大日本帝国印刷局		印刷局		
				24ミリ	29ミリ	削り	中央	
1銭	凸版平台	櫛型	0	0				煙突の左上に白三角 胸の日の丸に傷 横すかし、糊上印刷
	凸版ゲーベル	全型	0					
2銭	凸版平台	櫛型			0			
3銭	凸版平台	櫛型			0			「四」の字の右下欠け [銭]の字一部欠け
		櫛型無糊			0			
	凸版ゲーベル	全型			0	0	0	
		全型無糊			0			
4銭	凸版平台	櫛型	0					「銭」のたすき長い
	凸版ゲーベル	全型	0					
5銭	凸版ゲーベル	全型	0		0			
		全型糊無			0			
6銭	凸版平台					0	0	下部印面枠下に赤単線 上部左端印面枠一部欠け 「1」の字 細字
7銭	凸版ゲーベル	全型	0		0		0	
10銭	凸版ゲーベル	全型	0		0			
		全型糊無			0			
10銭	凸版平台	櫛型糊無			0			上部印面枠の一部欠け
15銭	凹版	櫛型	0					
17銭	凸版ゲーベル	全型	0					
20銭	凸版平台	櫛型	0	0				
27銭	凸版平台	櫛型			0			
30銭	凸版平台	櫛型	0					
40銭	凹版	櫛型	0					横すかし、糊上印刷
40銭	凸版平台	櫛型	0		0			
		櫛型糊無			0			

日本切手の透し

- (1)大正透かし (2)震災透かし (3)昭和透かし (3-変種)狭透かし



日本切手の銘版

- (1) 大日本帝国政府大蔵省紙幣寮刷版局 (1)～(9) 右書き
 (2) 大日本帝国政府大蔵省印刷局製造
 (3) 大日本帝国政府印刷局製造
 (4) 大日本帝国政府内閣印刷局製造
 (5) 内閣印刷局製造
 (昭和 18 年 11 月 1 日行政機構改革実施、印刷局の所管が内閣→大蔵省に)
 (6) 大日本帝国印刷局製造 ①短銘 24mm ②長銘 29mm
 (7) 印刷局製造
 (8) 日本国印刷局製造
 (9) 株式会社平山秀山堂謹製
 (10) 印刷局製造 (左書) (10) 以降左書き
 (11) 印刷庁製造 (旧庁)
 (12) 印刷庁製造 (新庁)
 (13) 大蔵省印刷局製造
 (14) 凸版印刷株式会社製造
 (15) The House of Questa, London ケスタ社(英国)
 (16) 財務省印刷局製造
 (17) 国立印刷局製造
 (18) WALSALL SECURITY PRINTERS LTD ウオールソル社 (英国)
 (19) Cartor Security Printing カルトール社 (フランス)
 (20) JOH. ENSCHEDE STAMPS エンスケデ社 (オランダ)
 (21) Philo poste フィラ・ポストネ

第三昭和切手分類表

額面額	印刷方式	紙質	銘 版					主なる バラエティー	
			大日本帝國 29ミリ 97-98-99	大日本帝國 95-96			印刷局 95-96		無し
				小	中	大			
2銭	凸版平台		0						
3銭	平版	灰白紙		0	0				I版3列4列間狭 4-5列間広
		粗紙		0	0				II版95花弁トゲ 100下枠
5銭	平版	白紙		0					青色(I版)
		灰白紙		0	0	0			II版91左下角欠
		狭透		0	0				
		粗紙		0		0			
10銭灰	凸版平台		0						薄紙有り
10銭青	平版	灰白紙		0					2列3列間狭 3-4列間広
10銭		白紙		0	0				
		灰白紙		0	0	0			
		狭透			0				
		粗紙		0	0	0			
20銭		白紙			0				中字はII版
		灰白紙			0				95右枠下(横)欠
		狭透			0				
		粗紙		0					小字はI版
30銭		白紙			0				
		灰白紙			0				
50銭		白紙			0		0	0	
		灰白紙		0			0		
		狭透			0		0		
		粗紙		0				0	
1 円		白紙			0				
		粗紙		0					リ-7黒色有
5 円		白紙						0	
		粗紙						0	
10円		白紙						0	
		粗紙						0	

第一次新昭和切手分類表

額面金額	銘 版 。 紙 質						
	印刷局（右書）			日本国印刷局			秀山堂
	白紙	灰白紙	狭透	白紙	灰白紙	狭透	
15銭 （横透し有り）	0	0	0				
30銭 糊なし				0	0	0	
糊付き			0				
30銭 秀山堂 （ルーレット目付き）							0 (S版・N版)
1 円 濃色				0	0	0	
淡色		0					
1.30円		0	0	0	0	0	
1.50円	0	0	0		0		
2円	0	0					
5円 糊無し	0	0					
糊付き		0					
10円 （S.22.2.22新）							0 (この切手より左書)
50円 正透					0		
横透					0		
100円		0					

第二次新昭和切手分類表

額面金額			銘 版 。 紙 質										
			印刷局 (主)		日本国印刷局		印刷局 (主)		印刷庁 (主)				
版式 耳紙		目打	灰白紙	狭透	白紙	灰白紙	狭透	灰9596	灰98	98灰			
30銭 平版	糊無	単線12		0 0	0	0	0						
		全型12×12/											
	糊付	全型12×12/									0 0		
		分割12×12/											
	糊無	櫛型13×13/									0	0	0 0 0
		横抜櫛13×13/											
下抜櫛13×13/													
糊付	下抜13×13/		0										
30銭 ゲーベル 霞野		全型13×13/							0				
35銭	ゲーベル	霞野							0				
	平台	白耳									横櫛		
45銭 平版 白耳		横櫛11×13/ 横櫛13×13/ 下櫛13×13/						0 0 0					
50銭 平版 白耳		櫛型						0					
1円 平台	白耳	横櫛13×13/						0					
	霞野	櫛型13×13/										0	0
1.2円ゲーベル		全型							0				
4円	平台	霞野							0 0	0			
	ゲーベル										全型		
5円	平台	白耳	横櫛11×13/					0 0 0					
			横櫛13×13/										
			下櫛13×13/										
	霞野	櫛型	0 0 0										
		横抜櫛											
		下抜櫛											
ゲーベル	全型		0 0										
10円 凹版 白耳		櫛型 横抜櫛						0 0					
50円 凹版 白耳		櫛型	0			0		0					
100円凹版 白耳		櫛型	0					0					

郵便料金の変遷と新料金適応切手の発行

西暦 年	料金改正 年.月.日	第一種 有封書状	第二種 葉書	速達料金	書留料金	適応切手シリーズ (圖案変更目的ほか)
1883	M.16. 1. 1	2銭(2匁)	1銭		6銭	
1899	M.32. 4. 1	3銭(4匁)	1銭5厘	M.44.2.11 6銭・12銭	M.33.10. 1 7銭	菊切手(1899~1907)
1931	S. 6. 8. 1	(15g)		S. 8. 7. 1 8銭	T.14. 4. 1 10銭	田沢切手(1913大正2年) (重量単位 匁→gに変更)
1937	S.12. 4. 1	4銭(20g)	2銭	8銭	10銭	第一次昭和切手 (国威宣揚シリーズ)
1942	S.17. 4. 1	5銭	2銭(据置)	12銭	12銭	第二次昭和切手 (戦意高揚シリーズ)
1944	S.19. 4. 1	7銭	3銭	20銭	20銭	(3銭・5銭・7銭額面変更対応)
1945	S.20. 4. 1	10銭	5銭	30銭	30銭	第三次昭和切手
46	S.21. 7.25	30銭	15銭	1円	1円	第一次新昭和切手 (平和日本象徴シリーズ)
47	S.22. 4. 1	1円20銭 (35銭・45銭切手発行)	50銭	4円	5円	第二次新昭和切手
48	S.23. 7.10	5円 (1.50円・3.80円切手発行)	2円	15円	20円	第三次新昭和切手
49	S.24. 5. 1	8円	2円(据置)	20円	30円	産業圖案切手
51	S.26.11. 1	10円	5円	25円	35円	動植物国宝圖案切手 (銭位→円位)
61	S.36. 6. 1	定型郵便制度		30円	40円	(圖案変更30円・40円発行)
66	S.41. 7. 1	15円(25g)	7円	50円	60円	新動植物NIPPON表示 色検知導入対応
71	S.46. 7. 1			70円	100円	(特殊取扱料金先行値上げ)
72	S.47. 2. 1	20円	10円			(3円*20枚切手帳1/31発行)
76	S.51. 1.25	50円	20円	150円	300円	
81	S.56. 1.20 S.56. 4. 1	60円	30円 40円	200円	350円	(葉書料金段階値上げ) 10円~50円花切手 (第1種・2種貝圖案)
89	H. 1. 4. 1	62円 (2円新切手発行)	41円	210円	360円	消費税3%導入 日本の自然シリーズ(1992~)
94	H. 6. 1.24	80円 (9円・18円切手発行)	50円	270円	420円	9・18・50・80・90円 1/13発行 270・350・420円 1/24発行
2014	H.26. 4. 1	82円 (2円新切手発行)	52円	280円	430円	消費税5%→8% 新切手11種・葉書9種3/3発行

外国郵便料金の変遷 (適応切手の発行)

西暦 年	料金改正 年 月 日	書 状		葉書	印刷物 50g以下	書留料金	適応切手 (図案変更目的)
		20g以下	21-20g以下				
1897	明治30年10月 1日 (15g)	10銭	10銭 (15g以下)	4銭	2銭	10銭	菊切手 (1899.1.1)
1907	40年10月 1日	10銭	6銭				田沢切手 (1913大正2年)
1922	大正11年 1月 1日	20銭	10銭	8銭	4銭	20銭	富士鹿切手
1925	14年10月 1日	10銭	6銭	6銭	2銭	16銭	風景切手 (1926.7.5)
1937	昭和12年 4月 1日	20銭	12銭	10銭	4銭	16銭	富士鹿・風景改色
1944	19年 4月 1日					30銭	第一次昭和切手
1945	20年 4月 1日	30銭	15銭	15銭	5銭	40銭	第二次昭和切手
							第三次昭和切手
46	21年 9月10日	1円	50銭	50銭	20銭	20.8.15	第一次新昭和切手
						書留取扱停止	
47	22年 4月 1日	4円	2円	2円	80銭		第二次新昭和切手
48	23年 9月 1日	16円	10円	10円	3円	35円	産業図案切手
49	24年 6月 1日	24円	14円	14円	5円	48円	動植物国宝図案切手
					50g以下 21-50g		
51	26年12月 1日				10円 5円		(銭位→円位)
59	34年 4月 1日	30円	20円	20円		50円	
61	36年10月 1日	40円	25円	25円	15円 10円		
66	41年 7月 1日	50円	30円	30円	25円 10円	70円	国名NIPPON表示
71	46年 7月 1日	50円	50g以下 90円		25円 50g以下 30円	100円	
76	51年 1月25日	90円	50g以下 160円	60円	50円 160円	300円	
81	56年 7月 1日	110円	200円	80円	110円 200円	350円	

航空増料金(船便料金に加算)

書状10gごと (葉書)

	特別地帯	第1地帯	第2地帯	第3地帯	第4地帯	第5地帯	
1947 昭和22年 8月28日		25円	45円	60円			
48 23年 9月 1日		15円	45円	70円	110円		
49 24年 6月 1日		16円	34円	59円	103円	144円	きじ航空郵便

航空併合料金

五重塔航空

1951 昭和26年12月 1日	25円	40円	55円	80円	125円	160円	立山航空
53 28年 7月 1日	25円	35円(30円)	50円(35円)	70円(40円)	115円(60円)	145円(75円)	大仏航空
59 34年 4月 1日	25円	40円(35円)	75円(40円)	115円(60円)			
61 36年10月 1日	25円(20円)	50円(30円)	80円(40円)	100円(50円)			
66 41年 7月 1日	30円(20)	60円(35)	90円(45)	110円(55)			
72 47年 7月 1日			80円	100円			
76 51年 1月25日		100円(70)	120円(80)	140円(90)			
81 56年 7月 1日		130円(90)	150円(100)	170円(110)			
87 62年 4月 1日		110円(80)	130円(90)	150円(100)			
88 63年 4月 1日		80円(70)	100円(70)	120円(70)			航空葉書は70円均一
94 平成 6年 1月24日		90円(70)	110円(70)	130円(70)			

成者塚本増氏など8氏が選ばれ、考証と指導、援助に力をつくした。

＊郵便切手図案委員会の設置

さて、準備がおおむね整ったので、予定にしたがって審査委員会を設け、図案を審議し、決定したものを順次発行することになった。

委員会は、昭和12年(1937)3月11日に発足した。その構成は、部外の学識経験者と部内の関係局長が加わり、それに通信次官が会長となって総勢19名であった。

◆部外者

東京帝国大学名誉教授 塚本 増
帝室博物館学芸委員 関 保之助
東京美術学校教授 和田 三造
同 結城 貞松

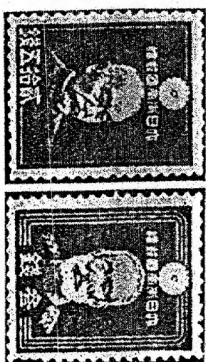
東京高等工芸学校教授 鎌田弥次治
東京帝国大学名誉教授 滝 精一
帝室博物館鑑査官 澤口祐次郎
東京美術学校教授 岡田三郎助

内閣印刷局技師 矢野 道也
内務技師 田村 剛
東京美術学校名誉教授 正木 直彦

◆部内者

会長 通信次官 宮安 謙次
委員 郵務局長 伊勢谷次郎
電務局長、経理局長、文書課長、通信博物館長、貯金局長、簡易保険局長

このほか逓傳館長(兼務)などが幹事として加わり、かねて用意された原画についての審議が始められるばかりとなった。ところがここに、昭和12年(1937)4月1日を期しての、郵便料金航上げ問題が起って来た。臨時的な措置として、前に述べたような、12年1月15日の局長招集の部課長会議となつて、用紙の改良のほか、とりあえず第1種用切手として東郷元帥、第2種用として乃木大将の肖像を描く切手を、審査委員会の決定を待たず、一応製版にまで進めておくことにした。



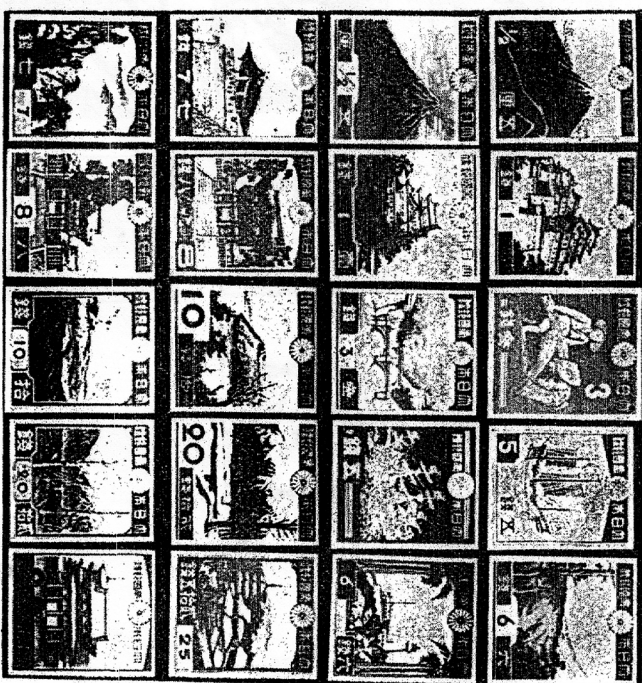
凸版印刷の試作品

料金の改正にともなつて、郵便切手の料額別用途にも著しい変化があり、図案配題や版式・製造の順位等についても再検討を加える必要があった。種々研究の結果、次のような成案を得たため、3月27日の第1回郵便切手図案審査委員会へ提出、後の委員会でも逐次審議することとなった。なお、緊急を要する二銭乃木大将切手、四銭東郷元帥切手などについては、この席上で事後承諾の形で意見を聞き、締了となった。

◆図案審査委員会提出の原画配題表

料 額	前 案	題 材	予定版式
五 厘	五 厘	北条の富士	凸 版
一 銭	七 銭	姫路城・名古屋城	"
二 銭	一銭五厘	乃木大将	"
三 銭	四 銭	稲の収穫(二重稲)"	"

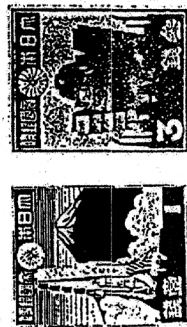
▼審査委員会へ提出の最初の原画の一部



選で390点で、第3次予選で115点とよるわ
れ、2月4日、19人の入選が決定した。

審査員は三井高陽、國家の和田三造、藤
田嗣治、内閣情報部副官川面三郎、内閣
印刷局印刷部副官影利、通信省逓信後一郵
務局長、津田英外逓信博物館館長、逓信大臣
官房長嶋一文、逓信省逓信局長村上好衛
品、逓信省同電務局長井井三郎、逓信省逓信局長、同防
金局伊藤敏行、逓信省逓信局長の11氏である。

- (1等) 鈴木泉造 (東京) 富士と八幡基柱 ★
(2等) ① 不明 (熊本) 戦車と工場
② 森勝三郎 (名古屋) 靖國神社 ★
③ 村田京士 (大阪) 軍艦
(3等) ④ 布谷広史 (大阪) 敵国降伏勅諭 ★
⑤ 山崎印刷局 (東京) 植樹と橋 ★
⑥ 不明 (愛知) 飛行機と2級 ★
⑦ 堀月 孝 (神戸) 迷走艦大尉後 ★
⑧ 山野内孝夫 (東京) 女子産業戦士 ★
(佳作) 西 昇平 (大阪) 女子産業戦士
土山 介 (大阪) ワシ
土屋藤江 (東京) 小児と旗
鈴木泉造 (東京) 飛行機と軍艦 ★
石川群佑 (東京) ワシと大砲
石村正太郎 (西宮) 陸軍飛行機と戦闘機
須田泰助 (東京) 飛行機と軍艦と國旗
河野貞治 (東京) 古代武人と旭日
中野 猛 (北京) 大東亞地圖 ★
堀田光男 (小倉) 軍艦
(大印は一部修正して切手となったもの)



時局郵便切手の図案懸賞募集

第1次時局郵便切手をおわって、第2次に入る
わけだが、この切手の図案の大部分を占める懸
賞募集とその入選作品をまとめて紹介してお
く。

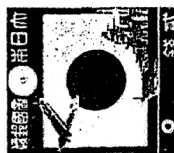
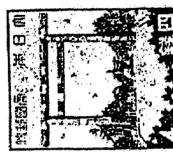
この切手図案の募集は、すでに大東亞戦争
に突入直前、戦争協力のための新しい切手図
案に変更するための試みであり、昭和16年12
月1日に発表された。

募集要項の中にも

〔意匠図案〕 防衛、生産力 拡大、高度 国
防國家の建設、その他國策遂行上時局を起
境せしめ、かつ宣傳的效果ある題材とし新
折にして迫力あるものたること。

とあるように、軍國主義的圖案が要求され
ているのも、当時の情勢がうかがえる。1等
500円 1名、2等300円 3名、3等100円 5
名佳作300円10名という賞金が出された。

この募集で最初の昭和17年1月15日までの
1ヵ月半に、逓信省郵務局によせられた作品
は2972点にのぼった。(比較制限がなかった
ので、応募者数としては1263人であった) 第
1次予選で、これらは611点に、第2次予



追放切手の 使用禁止

敗戦後の米占領軍の占領政策の一つとして、軍国主義的図案の郵便切手の使用禁止がある。すでに昭和二十二年六月末、電報通関によって全国各郵便局に、これらの切手の売捌き中止が指令されたが、同七月二十三日付の通信省令でその使用禁止が通達された。

同時に八月一日からその引換えが、開始されたが、八月三十一日以降も引つぎ行なわれた。

なお省令によるとたとえば「旅島三十銭切手」とあるが、これには告知のようにに凹版、凸版、平版の三種があり、このように計算してゆくと種類も三種あり、省令では、二十四種だが、収集家としては、三十一種となる（乃木三銭、地四十銭などのノリなしは除く）＝次ページの写真参照

通信省令第二十四号

左ニ掲げる郵便切手及び郵便葉書ハ、ソノ意匠ガ軍国主義、神道等ノ象徵ニ關係ガアルヲデ、昭和二十二年九月一日以後コレヲ使用シテハナラナイ。

乃木将軍ノ意匠ノ二銭及び三銭郵便切手
盾ノ紋ノ意匠ノ三銭切手
東郷元帥ノ意匠ノ四銭、五銭及び七銭郵便切手

富士トハ威基往ノ意匠ノ四銭郵便切手
旭日ト飛行機ノ意匠ノ五銭郵便切手
ガランビ灯台ノ意匠ノ六銭及び四十銭郵便切手

遊樂船士ト飛行機ノ意匠ノ六銭郵便切手
金剛山ノ意匠ノ七銭郵便切手
明治神宮ノ意匠ノ八銭郵便切手
東照宮ノ意匠ノ十銭郵便切手
地圖ト椰子ノ意匠ノ十銭郵便切手

敵国降伏ノ意匠ノ十銭郵便切手
飛行機ト地圖ノ意匠ノ十二銭郵便切手
春日神社ノ意匠ノ十四銭郵便切手
少年航空兵ノ意匠ノ十五銭郵便切手
靖國神社ノ意匠ノ十七銭、二十七銭及び一円郵便切手

旅島ノ意匠ノ三十銭郵便切手
藤原鎌足ノ意匠ノ五円切手

楠公銅像ノ意匠ノ通常葉書及び往復葉書
前項ノ郵便切手及び郵便葉書ハ郵便局ヲコレヲ他ノ郵便切手又ハ郵便葉書ト引換エ
ルコトガナキル。前項ノ郵便切手以外ノ十銭未満ノ郵便切手モ同様トスル

前項ノ場合ニオイテ引換エスル双方ノ郵便切手又ハ郵便葉書ノ合計金額ガ符合ソナイトキハ、ソノ端數額ヲ現金ヲ決済スルコノ省令ハ昭和二十二年八月一日カラコレヲ施行スル

昭和二十二年七月二十三日
通信大臣 三 木 武 夫

外国の収集家向け輸出

上記のように全国の郵便局に集められた追放切手は、規定のルートにより通信省へ返納されたが、一部の収集家の進言を入れて、外国の収集家向けに輸出されることになり、写真のようなパンフレットが製作され、連合軍を通じて海外によびかけられたが、その数量などは不明である。



追放軍国主義切手最終日印



昭和二十一年一月十日

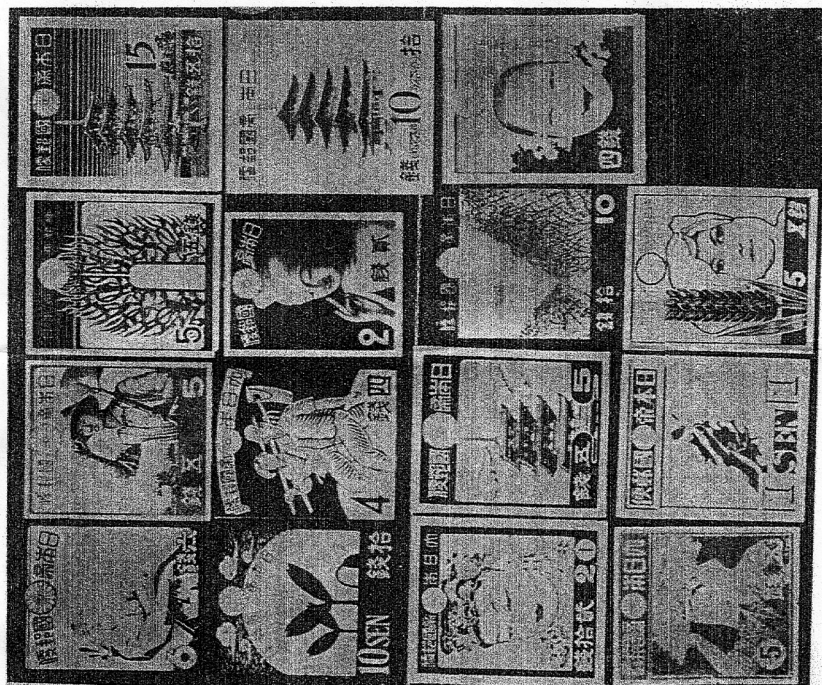
通 信 院

通信院でさきに平和色豊かな新郵便切手図案を一般から懸賞募集中の趣きの十二月十五日を以て締切ったが応募数三千六十点の多数に達したので和田三造氏、加藤倉吉氏、中村居蔵氏、三井高徳氏、宮本三郎氏等所収の権威者と通信院内関係諸局長を以て審査会を組織し、慎重審査の結果選定はがら一等及二等に該当する優秀作品はなかったが三等及佳作は左の通入選者を決定発表した。

(番号は92ページの左上から右への順)

- 三等 (5名) 賞金 300円宛
 - ⑥農業日本の再建に希望を以て出発する姿を描ける図 川崎市 伊藤 潤
 - ⑦霊峰富士に農村女性を配したる図 大阪市 田代 実
 - ⑧薬師寺東塔の水煙を描ける図 大阪市 鳥井千太郎
 - ⑨法隆寺五重塔を描ける図 新木県 前島誠一
 - ⑩農業立国を象徴し農村青年とトラクターを描ける図 福岡県 山田三郎
 - 佳作 (10名) 賞金 100円宛
 - ⑪大原女を描ける図 横浜市 大谷良子
 - ⑫京都広隆寺の如意輪観音木像を描ける図 東京都 山森元竜
 - ⑬農業日本の「実りの秋」を表現したる図 神戸市 前島 栄
 - ⑭雨水作の龍面に正倉院神物の羽織紋様を配したる図 丸亀市 河野虎雄
 - ⑮法隆寺金堂壁画の観音を描ける図 横浜市 橋本 真
 - ⑯農業立国を象徴し麦と農村女性を描ける図 長野県 城取泰生
 - ⑰双葉をかざし新生日本の光輝ある将来を表現せる図 大宮市 大越英男
 - ⑱五重塔を描き古代文化を表現せる図 大阪市 岡本和三郎
 - ⑲法隆寺五重塔を描ける図 東京都 山野内孝夫
 - ⑳双葉に富士を配し新生日本を表現せる図 徳島県 手塚敏夫

入選した十五種の原画



(92)

平和図案の募集

軍国図案切手の廃止にともない、新生日本を象徴する平和的な図案募集が昭和20年10月31日付官報に通信院郵務局の広告が掲載された。

◎新郵便切手図案懸賞募集
左記規定に依り新郵便切手図案ヲ懸賞募集ス
昭和二十年十月 通信院郵務局

募集規定

- 一 意匠図柄 文化的平和の新日本を象徴し新シニシテ高尚優雅ナルコト
- 一 彩色 色彩ハ「ブルーブラック」ノ一色トス
- 一 描写寸法 図案ハ縦九〇耗、横七四耗ノ輪廓内ニ描キ之ヲ現行切手ノ大イサ (縦二二耗五、横一八耗五) ニ縮写スルトキハ直子ニ製版ニ適スベキモノタルヲ要ス
- 一 描写用紙 描写ニ適当ナル用紙ヲ用之之ヲ台紙 (縦一三五耗、横一一九耗) ニ貼付シ

台紙ノ裏面ニ応募者ノ住所氏名位ニ図案ノ解説ヲ明記スルコト

- 一 其ノ他ノ要件 切手ノ上部ニ菊花御紋章ヲ附シ日本帝國及料金額 (任意ノ額) ノ文字ヲ適當ノ位置ニ按排スルコト其書体ハ任意トス

一 締切日 本年十二月十五日迄
一 図案ノ送付先 図案ハ之ヲ密封シ「郵便切手懸賞図案」ノ文字ヲ郵便物ノ表面ニ朱書きノ上東京都麻布区飯倉町六丁目通信院郵務局長宛送付スルコト

一 審査及発表 審査ハ民間有識者ニ委嘱構成セル審査委員会ニ於テ之ヲ行ヒ当選者ノ氏名ハ官報位ニ通信公報ニ発表ス

一 著作権 応募図案ハ一切延戻セズ著作権ハ当院ニ属シ採用ノ場合修補スルコトアルヘシ

- 一 賞 金
 - 一等賞 金千円 一名
 - 二等賞 金五百円 三名
 - 三等賞 金三百円 五名
 - 佳作 金百円 十名